

新資格

経営の一翼を担う栄養のエキスパート

「栄養経営士」誕生!

2015年
春

「10年後に果たして病院内に管理栄養士という職業が残っているだろうか?」。

たとえば医師を例に挙げると、「医師免許」をもっていないとやっではないけない医療行為は多い。看護師免許や薬剤師免許も同様であ

た。日本栄養経営実践協会設立のきっかけは、2013年9月から14年の2月にかけて札幌・仙台・東京で開催された「ヘルスケア・レストラン」創刊20周年記念フォーラムにて講演した宮澤靖氏(社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部部長)の言葉だった。曰く、

「10年後に果たして病院内に管理栄養士という職業が残っているだろうか?」。

たとえば医師を例に挙げると、「医師免許」をもっていないとやっではないけない医療行為は多い。看護師免許や薬剤師免許も同様であ

「管理栄養士免許がないとできない医療行為はない」

日本栄養経営実践協会設立のきっかけは、2013年9月から14年の2月にかけて札幌・仙台・東京で開催された「ヘルスケア・レストラン」創刊20周年記念フォーラムにて講演した宮澤靖氏(社会医療法人近森会近森病院臨床栄養部部長)の言葉だった。曰く、

「10年後に果たして病院内に管理栄養士という職業が残っているだろうか?」。

たとえば医師を例に挙げると、「医師免許」をもっていないとやっではないけない医療行為は多い。看護師免許や薬剤師免許も同様であ

表 栄養経営士に必要な能力

現状分析・評価能力	院内・施設内において所属する栄養部門がどのような位置にあり、病院・施設経営のうえで何を求められているのか? これを明確に認識できなければならない。
目標設定能力	所属する栄養部門が何をめざすべきなのか? その目標設定ができなければならない。食材のコスト削減、人件費削減、栄養指導件数増など、目先の収益を目標にして行き当たりばったりの運営をしていると、要員は何をめざして研鑽すべきかわからず、成長できない。
適材適所の人事能力	人にはそれぞれ性格があり、部門長はその性格を明確に把握し、要員が成長していけるように適所へ配置していくべきである。じっくりと傾聴することに適した性格の要員もいれば、高い業務処理能力と瞬時の判断に優れた要員もいる。前者は栄養指導に適しているであろうし、後者はICUなどのスピードを要する場所が適している。要員の適性を考慮した人材配置ができなければ組織を強化することはできない。
人事評価能力	前項の適材適所の人事と併せて、要員の成果やスキル、努力などを適正に評価することが重要である。適正な評価なしに要員のモチベーションを高めることはできない。
アウトカムの評価・分析能力	自分自身や要員、あるいは所属部門が行なった仕事の結果を客観的に評価し、よかった点と悪かった点を認識し、悪かった点についてはその原因をしっかりと分析してプランの見直しをする能力が必要である。この流れを的確に実行できなければ、所属部門の仕事の質を高められない。
病態把握能力・教育	多くの管理栄養士が医療の専門教育を受けていない。したがって、Alb3.5g/dLならば低栄養というように、1つの疾患に対して1つの検査数値で覚えているのが現状である。しかし、実際の患者の多くはさまざまな症状が複雑に絡み合う病態を呈している。管理栄養士はこれを総合的に把握できなければならない。さらにそれを仲間の管理栄養士に対してしっかりと伝えるための教育も不可欠である。

「栄養経営士」の カリキュラムが決まる

経営の視点から栄養管理業務をとらえ、
栄養管理の成果をもって施設経営に貢献する
「栄養経営士」の育成をめざす日本栄養経営実践協会。
このたび、「栄養経営士」育成のカリキュラムについて
その大枠が決まりましたのでご紹介いたします。



近森病院 近森 靖
社会医療法人 近森病院
臨床栄養部 部長
一般社団法人 日本栄養経営実践
協会 代表理事
宮澤 靖 氏

人の命をお預かり
するその「意識」を
大切にしていこう

「日本の管理栄養士に
一番欠けているものは
病院、福祉施設に勤
務し、人の命をお預か
りするという『仕事の
覚悟』であり、本協会
は管理栄養士の意識を
大切にしていきたくい
と語る宮澤靖氏。前頁
では、こうした『覚悟』
をもった管理栄養士を
育成していくために必
要な能力として、
①現状分析・評価能力
②目標設定能力
③適材適所の人事能力

④人事評価能力
⑤アウトカムの評価・
分析能力
⑥病態把握能力・教育
以上の6つを同協会は
挙げていると伝えた。
その後、同協会はこれ
6つの能力の習得のた
めの具体的なカリキュ
ラムを策定した。今回
はそのカリキュラム内
容について紹介する。

病棟業務管理
不要な絶食患者
ゼロをめざす病棟
業務マネジメント
―栄養部門が経営
の一翼を担う―
そもそも管理栄養士
は、口からおいしく安

全に食べてもらうとい
う使命をもっている。
しかし、現実には消化
管が動いているにもか
かわらず、延々と静脈
栄養管理下にある術後
患者が散見される。そ
れでは管理栄養士とし
ての使命を全うできな
い。
術後、一刻も早く消
化管の動きや循環動態
などを確認したうえで
経腸栄養への移行を提
案し、同時に嚥下機能
評価を行なって経口摂
取への移行法を模索す
べきである。延々と静
脈栄養を続けていては
治療成績が上がらず患
者のQOLの向上につ
ながらないだけでなく、
DPC方式の中で病院
経営面においてもマイ
ナスである。もちろん、
管理栄養士一人ではど
うにもならない。
本カリキュラムは絶

食患者ゼロに向けて、
チームの体制をどう構
築すべきか、そのマネ
ジメントのあり方につ
いて教育していくもの
である。

コスト管理
そのコスト削減は何
のためですか？
―業務の選択と集
中で患者満足の実
現をめざす―

栄養部門の収益を上
げる。それは質の高い
栄養サポートを提供す
るための組織力強化に
つながる大切なことだ
である。
しかし、収益アップ
をめざすために食材費
や人件費を削減するこ
とが本場に質の高い栄
養サポートの提供につ
ながるだろうか？
食材費のコストカッ
トを行なえば当然、患
者へ提供する食事の質
が低下し、患者の食欲
はさらに低下してしま
う。人件費をカットす
れば、目先の収益アッ
プにはつながるかもしれ
ないが、病棟できめ
細かくリアルタイムで
管理栄養士が栄養サ
ポートしていくことは
難しくなる。さらに収
益増のために栄養指導

の件数をノルマ化する
という話も聞くが、そ
れをやって本当の意味
で栄養部門の収益アッ
プにつながるだろう
か？
少ない人員で栄養指
導の件数というノルマ
をこなすのに精いっぱい
となり、栄養指導の
質そのものが低下して
しまえば、治療成績が
低下し、医師からの栄
養指導のオーダーがな
くなることにもなりか
ねない。
本カリキュラムで
は、そうした目先のコ
スト管理に振り回され
るのではなく、栄養部
門における業務の選択
と集中という視点から
人・物・金・情報をと
らえ、治療成績向上を
見据えたコストマネジ
メントのあり方につ
いて啓発していく。

組織マネジメント
患者の命を守るため
の組織マネジメント
―専門職としての
使命を全うできる
環境づくり―

術後患者に対し早期
に栄養サポートを開始
し、静脈栄養から経腸
栄養、そして経口摂取
へと移行を図り、早期

退院へとつなぐ。さら
に栄養サポートのバト
ンを受け継いだ慢性期
病棟や高齢者施設の管
理栄養士は、在宅復帰
をめざして栄養サポー
トを継続していく。
それはまさに患者の
栄養管理を担う管理栄
養士の使命だが、思い
だけでは使命を全うで
きない。リアルタイム
できめ細かい栄養サ
ポートを病棟で展開可
能な組織をつくらなけ
ればならない。
本カリキュラムで
は、業務の選択と集中、
要員の自立・自助のあ
り方、適材・適所の人
員配置など、目的を達
成するための組織づく
りに欠かせないマネジ
メントスキルについて
学んでいく。

人材教育
マネジメント
自ら考え行動する
人材育成の教育
マネジメント
―鉄は熱いうちに打た
なければならぬ―

多くの栄養部門で
は、新人が入職すると
まずは厨房で数年間働
き、その後、栄養指導
を経てベテランの域に
達する頃によく病

■監修:鈴木隆雄
(国立長寿医療研究センター 研究所長)
■定価:本体3,700円+税
■体裁:B5判並製
■ISBN:978-4-86439-298-3 C3047

高齢者の栄養と健康問題は、社会の問題である。
地域でのサポート体制を構築せよ!

国民の栄養白書 2014-2015年版

地域社会の再建をめざす新たな未来
高齢者の栄養と健康問題

好評
発売中!

■巻頭特集 高齢者の健康と食事
【特別対談】医療・介護・在宅における高齢者の
栄養問題と平穏死
【論 点】高齢者の食と栄養を問う3つのトピックス
①いわゆる「誤表示」問題に学ぶ正しい表示の見方
②重症化予防を見据えた新たな栄養指針:
日本人の食事摂取基準2015年版
③食形態の新たな「ものさし」:
「嚥下調整食学会分類2013」について

目次
■第1部 医療・介護・在宅における高齢者の
栄養・健康問題
第1章 高齢者の食事とライフスタイルの変化
第2章 高齢者の疾病と栄養状態
第3章 医療における高齢者の栄養・健康問題
第4章 介護における高齢者の栄養・健康問題
第5章 在宅における高齢者の栄養・健康問題
■第2部 地域社会と高齢者
第1章 地域社会の現状と高齢者の生活
第2章 地域社会の再建と高齢者の栄養ケア
第3章 高齢者の栄養を支える企業の挑戦

棟で栄養サポートに従事する人事を行なっている。しかし、それでは本場にその要員はメデイカルスタッフとして成長できるのだろうか？

アメリカ栄養士会の調査によると、プロフェッショナルとしての栄養士の成長は、初期教育が要であり、ここでプロとして体系的な教育を受けて十分な経験を積み、患者や多職種とのコミュニケーションを密に図っていくことで、3～5年後に急成長することができるという。

しかし、初期教育の段階で体系的な教育を受けず、ルーチン業務のみをこなしていく状態だと3～5年後、ルーチン業務をこなせるレベルのまま成長するだけになってしまう。その段階で専門的な教育を受けても十分な成長は期待できず、両者の差は約15年後に、格段にひろく開いていく。

多職種協働
コミュニケーション
多職種協働のコミュニケーション
一人と組織、そして地域をつなぐ連携の要

病棟業務マネジメント、組織マネジメント、コスト管理、教育マネジメントなど、すべての取り組みにおいて要となるのがコミュニケーションである。栄養部門内はもちろん、

患者や多職種、さらには急性期病院と回復期リハビリテーション病棟、老健、特養など、栄養サポートの地域連携においても不可欠となるスキルである。本カリキュラムでは、こうしたさまざまな場面で必要となるコミュニケーションのあり方について、単なる意思疎通の意味だけでなく、栄養部門の取り組みを周囲

病態栄養
栄養経営士のための病態栄養講座
病態の把握なしにチーム医療に参画はできない

管理栄養士の多くは、養成課程において病名と検査値などの数字で栄養管理を学んでいる。それは一面的な診方であり、患者を診るといってトレーニン

て病名と検査値などの数字で栄養管理を学んでいる。それは一面的な診方であり、患者を診るといってトレーニングを受けていないことによる。しかし、栄養サポートとは本来、患者の病態をしっかりと把握し、リスクの発生を先回りして予想し

いくことである。それには病態の把握が不可欠となる。本カリキュラムは、糖尿病や心不全、腎疾患、呼吸器疾患など、栄養サポートを行なううえで避けて通ることのできない病態について解説。患者の病態のとらえ方について習得していく。

(出典「ヘルスケア・レストラン」2014年7月号/8月号(日本医療企画))

日本栄養経営実践協会 推薦図書
「栄養経営士」のカリキュラムに対応したテキストシリーズ(全6巻)

【第1巻】

- 不要な絶食患者ゼロをめざす病棟業務マネジメント—栄養部門が経営の一翼を担う—
著者/真壁 昇(関西電力病院疾患栄養治療センター)
- 1 口から食べて退院させることが管理栄養士の使命である
- 2 術後患者の栄養管理の現状と課題
- 3 輸液管理が病院経営を圧迫する
- 4 DPCという追い風を活かす
- 5 絶食患者ゼロをめざし収益2億円を達成した近森病院の事例
- 6 輸液から経腸、経口への移行とリスク管理
- 7 輸液製剤の種類と特性
- 8 経腸栄養剤の種類と特性
- 9 栄養補助食品の種類と特性
- 10 不要な絶食患者ゼロをめざすための体制づくり
- 11 ベッドサイドこそが管理栄養士の居場所である

【第2巻】

- そのコスト削減は何のためですか？
—業務の選択と集中で患者満足の実現をめざす—
監修/大谷幸子(淀川クリスト教病院栄養管理課課長)
- 1 何のためのコスト管理なのか？
- 2 食材のコスト削減が招く喫食率の低下
- 3 栄養指導件数のノルマ増で医師からのオーダーがゼロになる
- 4 コストのみで選んだその栄養剤、本当に最適なものでしょうか？
- 5 コスト削減が招く輸液・薬剤のコスト増という経営危機
- 6 治療成績向上のためのグローバルコストという考え方
- 7 経腸栄養ポンプはグローバルコストの点で有益である
- 8 業務の選択と集中で考える新たなコスト管理

【第3巻】

- 患者の命を守るための組織マネジメント
—専門職としての使命を全うできる環境づくり—
監修/宮澤 靖(近森病院臨床栄養部部長)
- 1 管理栄養士に求められるリーダーシップとは？
- 2 選択と集中に基づく組織のあり方
- 3 部門員に必要な自立・自助の組織作り
- 4 部門員の性格の把握と適材適所の人員配置
- 5 栄養部門における要員教育と労務管理
- 6 次世代のリーダーと生み出す組織を造ろう

※タイトル・内容は一部変更になる場合がございます。テキストの詳細は日本医療企画HPにて近日紹介予定。随時ご確認ください。

発行/(株)日本医療企画

【第4巻】

- 自ら考え行動する人材育成の教育マネジメント
—鉄は熱いうちに打たなければならない—
監修/山下茂子(熊本県立大学環境共生学部非常勤講師)
- 1 チーム医療の概念、アウトカムが出るチーム医療とは？
- 2 なぜ3年間の厨房業務がスタートなのか？
- 3 部門員にめざすべきゴールを示していますか？
- 4 熱いうちに鉄を打つ、初期教育がリーダーを育てる
- 5 業務における問題意識の有無が仕事の情熱を左右する
- 6 看護師教育のラダーに学ぶ10年間の栄養士教育
- 7 医師の屋根瓦方式に学ぶ教育法
- 8 研修生の受け入れを部門員のスキルアップに活かす
- 9 部門員のモチベーションを高める評価制度と労務管理
- 10 今後求められるリーダー像

【第5巻】

- 多職種協働のコミュニケーション
—一人と組織、そして地域をつなぐ連携の要—
監修/秋山和宏(東葛クリニック病院副院長)
- 1 信念対立説明アプローチから見たコミュニケーションの重要性
- 2 栄養管理計画のプレゼンができていますか？
- 3 カンファレンス前に必要な情報収集とプレカンファ
- 4 管理栄養士に必要なカルテの読み方
- 5 管理栄養士に必要なフィジカルアセスメントの知識
- 6 電子カルテを用いた情報収集
- 7 栄養士語を多職種共通言語に翻訳しよう
- 8 医師とのコミュニケーションに不可欠なスキル
- 9 看護師とのコミュニケーションに不可欠なスキル
- 10 栄養指導で求められるコミュニケーション力
- 11 チーム医療は「参加する医療」に進化する

【第6巻】

- 栄養経営士のための病態栄養講座
—病態の把握なしにチーム医療に参画はできない—
監修/吉田貞夫(沖縄メディカル病院 内科部長)
- 1 糖尿病(高血糖の3つのメカニズム)
- 2 心不全とカヘキシア
- 3 腎疾患
- 4 呼吸器疾患
- 5 肝・胆道疾患
- 6 褥瘡
- 7 感染症
- 8 がん
- 9 高齢者
- 10 認知症
- 11 検査データの評価と栄養学的な対応
- 12 NSTメンバーの教育

2015年春 刊行予定! 栄養経営の一翼を担うエキスパート育成のための「栄養経営士」テキストシリーズ(全6巻)

次世代の栄養経営を担う「栄養経営士」に必要な6つの能力を習得!



栄養管理の現場が変わる全6巻

- ① 不要な絶食患者ゼロをめざす病棟業務マネジメント—栄養部門が経営の一翼を担う—
- ② そのコスト削減は何のためですか？—業務の選択と集中で患者満足の実現をめざす—
- ③ 患者の命を守るための組織マネジメント—専門職としての使命を全うできる環境づくり—
- ④ 自ら考え行動する人材育成の教育マネジメント—鉄は熱いうちに打たなければならない—
- ⑤ 多職種協働のコミュニケーション—一人と組織、そして地域をつなぐ連携の要—
- ⑥ 栄養経営士のための病態栄養講座—病態の把握なしにチーム医療に参画はできない—

■ 総監修/宮澤 靖(近森病院臨床栄養部部長)
■ 定価/各巻2,500円(予価)+税
■ 体裁/各巻B5判

(株)日本医療企画 〒101-0033 東京都千代田区神田岩本町4-14 神田平成ビル TEL:03-3256-7495
● 関東支社 TEL: 03-3256-2885 ● 関西支社 TEL: 06-7660-1761 ● 九州支社 TEL: 092-418-2828
● 北信越支社 TEL: 076-231-7791 ● 中部支社 TEL: 052-209-5451 ● 北海道支社 TEL: 011-223-5125

日本医療企画 検索 http://www.jmp.co.jp/

育成のための今後の展望

「栄養経営士」は臨床スキル、コミュニケーションスキル、リスクマネジメント、コンプライアンス、人財育成など多岐にわたる知識を習得し、実務の現場で発揮するための「学びの場」として、全国にある9つの地域支部*を中心とした勉強会の開催を予定しています。

また、地域性を反映し、日常業務に活かせるような話し合いを行う「研鑽の場」として、支部ごとでの活動を始動いたします。

各支部における勉強会テーマ(例)

●急性期から在宅までの総合的栄養管理の実践的アプローチ
救急搬送されてきた患者に対して早期に栄養介入し、静脈栄養から経腸栄養、経口摂取に移行するまでの栄養経営の実践的アプローチについて、急性期病院から在宅までのさまざまなステージで活躍する管理栄養士を交えて話し合います。

●糖尿病患者の血糖管理のための戦略的食事療法
糖尿病患者の治療においては、薬物療法と同時に食事療法や運動療法を効果的に組み合わせることが鍵となります。本勉強会は患者の希望の実現を目標に据えた食事療法をあり方について、戦略的にアプローチしていくための方法をディスカッションしていきます。

●絶食者ゼロをめざす経腸栄養のマネジメント
漫然と静脈栄養管理下におかれている患者に対し、早期に経口摂取への移行を図るためのマネジメントのあり方について事例をもとに学んでいきます。

●脳梗塞患者の経口アプローチのための実践的マネジメント
摂食・嚥下障害患者の大多数を占める脳梗塞患者の経口アプローチについて、管理栄養士としての役割

*地域支部

- 北海道支部
- 東北支部
- 関東支部
- 東海支部
- 北陸支部
- 関西支部
- 中国支部
- 九州支部

●周術期の栄養経営アプローチ
術前より退院後を見据えた栄養管理のあり方について、実際の症例をもとにトータルマネジメントするための方法を考えていきます。

●周術期の栄養経営アプローチ
術前より退院後を見据えた栄養管理のあり方について、実際の症例をもとにトータルマネジメントするための方法を考えていきます。

「栄養経営士」資格認定試験の概要

●目的
栄養経営に関する基礎知識、倫理(モラル)に基づき「栄養経営士」像に鑑み、その習得・到達度を測ることを目的とする。

●出題科目
病棟業務管理・コスト管理・組織マネジメント・人材教育マネジメント・多職種協働コミュニケーション・病態栄養

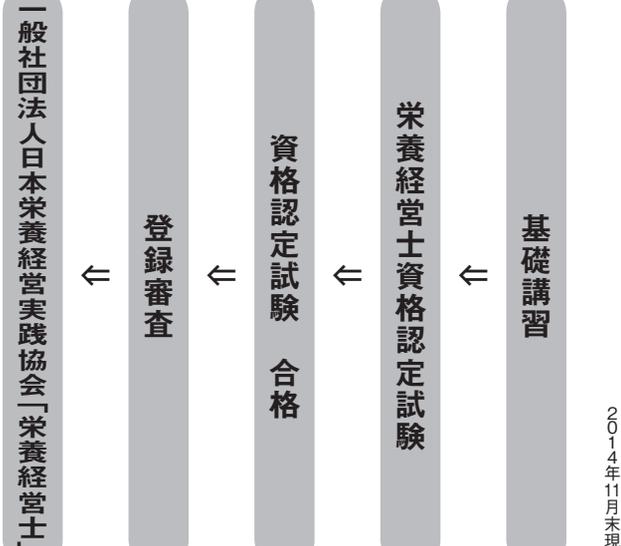
●受験資格者
管理栄養士(実務経験2年以上) ※基礎講習(仮称)修了者
受験料/8000円(税込)

●資格認定試験に先立ち、全国で栄養経営の基礎講習を行う予定です。基礎講習の内容については決まり次第、協会ホームページや月刊「ヘルスケア」ストラテジー誌上にご案内いたします。

会員種別と会費・会員特典

会員種別	対象となるお客様 ◆ポイント	登録料	年会費	特別特典 ※法人会員特典は、法人を通じての手続きのみ適用となります。	共通特典
法人正会員	◇栄養経営士合格者の能力を活用していきたい法人様 ◆会員となる有資格者の登録料・年会費を法人が負担します。個人で入会するよりも登録料がお得です。栄養経営士資格の受験奨励、社内育成・活用を図ることができます。	3万円	1万円× 栄養経営士登録人数分	●栄養経営士の追加登録人数の制限なし ●栄養経営士研修受講料・試験受験料割引(20%割引) ●本協会主催セミナーの参加割引 ●各種研究会の参加のご案内 ※参加費用別途 ※送付物は本社等に一括送付	●会員証発行 ●協会発行『月刊栄養経営ニュース(仮)』の購読 ●栄養経営士情報誌の購読 ●協会推薦図書割引提供(20%割引)
個人正会員	◇栄養経営士の試験に合格、会員として活動していく方 ◆会への参加を通じて、スキルアップや人脈形成を図ることができます。	5,000円	1万円	●協会(各支部含む)主催の情報交換会等へのご招待 ●本協会主催セミナーの参加割引 ●各種研究会の参加のご案内 ※参加費用別途	
法人賛助会員(企業)	◇栄養経営士の理念を理解し、会の活動に賛同いただける企業様 ◆栄養経営士の会員へ自社商品・サービスをアピールする機会を持つことができます。 ◆会への参加を通じて、人脈形成、ネットワーク構築を図ることができます。	無料	10万円(一口)	●協会(各支部含む)主催の情報交換会等へのご招待 ●本協会主催セミナーの参加割引 ●本協会主催セミナー等でのチラシ/パンフレット配布協力 ●各種研究会の参加のご案内 ※参加費用別途 ●全国大会等に展示設備がある場合、本協会が準備する展示空間の優先案内 ●協会発行物への広告掲載の優待	

「栄養経営士」資格認定の流れ(予定)



◆協会からのお知らせ◆

理事の対談を掲載!

「栄養経営士」公式ガイドブック 配布スタート!

2015年春、管理栄養士の新たな道を切り拓くため、新資格「栄養経営士」が誕生します。「栄養経営士」が誕生するに至った背景や管理栄養士が取り組むべき今後の課題について、代表理事の宮澤靖氏と副代表理事の秋山和宏氏に語っていただきました。

「栄養経営士」の役割、資格認定試験の概要、学習教材、協会の設立趣旨などが掲載されています。

ご希望の方は当協会までご連絡ください。



一般社団法人日本栄養経営実践協会
TEL:03-5289-7021 http://nutrition-management.jp

毎年1万人以上の栄養士・管理栄養士が愛用する手帳『栄養士ダイアリー2015』絶賛好評発売中!

グレードアップした『栄養士ダイアリー2015』

栄養士・管理栄養士が必要としている栄養管理に関する資料や業務に活用できる情報が掲載された『栄養士ダイアリー2015』は現在、好評発売中です。

毎年、1万人以上の栄養士・管理栄養士から支持をいただいている本ダイアリーは、第一線で活躍する現場の声をもとに制作しており、年々グレードアップしています。

今回は小川哲史氏(高崎総合医療センター統括診療部長)が監修する『「ヘルスケア・レストラン」オリジナル 輸液製剤・組成早見表』を別冊付録として用意しております。現場ですぐ活用できる必携アイテムです。



- 【今月のキーポイント】
- 1月: 診療報酬改定と管理栄養士業務
 - 2月: 経口維持加算と食形態の調整
 - 3月: 胃ろう造設時嚥下機能評価加算
 - 4月: 糖尿病透析予防指導管理加算とチーム医療
 - 5月: 在宅訪問栄養食事指導
 - 6月: 通所者に対する栄養ケア・マネジメント
 - 7月: EAT-10による嚥下機能評価
 - 8月: 嚥下調整食と厨房業務
 - 9月: 特別食加算と給食経営管理
 - 10月: 認知症患者の栄養ケア
 - 11月: フレイルティと高齢者の栄養管理
 - 12月: マネジメントスキル
- 監修: 原 正俊(華学園栄養専門学校校長)
●体裁: A5判、本文2色、320頁
●定価: 本体価格2,200円+税